

StuDX Styleのウェブサイトを見てみよう（第2回/全5回）

研修のゴール

StuDX Styleを実際に見て、掲載されている内容をつかみ、ICT活用のイメージをもつ。

所要時間の目安／1グループの目安人数

20分程度／1グループ4名程度

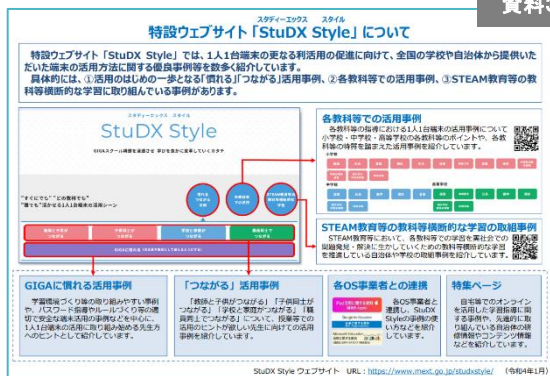
準備物・資料

- [資料3](#)
(特設ウェブサイト『StuDX Style』について)
- ワークシートイメージ2
- ICT端末等

研修の主な内容・流れ

- 「特設ウェブサイト『StuDX Style』について」
の資料を見て、概要をつかむ。(3分)

資料3



研修担当者

「各自で資料3を見て、StuDX Styleに掲載されている事例や情報の中で、特に興味をもったものについて、互いに意見交換しましょう。」



参加者A

「StuDX Styleには、全国の学校や自治体のいろいろな実践事例が掲載されているんですね。」



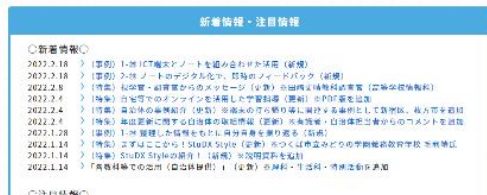
参加者B

「まずは、私はGIGAに慣れる活用事例から見てみようと思います。どんな事例が掲載されているか楽しみです。」

- 各自のICT端末等で、StuDX Styleを閲覧し、各ページの内容からイメージした活用場面や取組について交流する。（14分）

StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ、学びを豊かに変革していくために



「慣れる・つながる活用事例一括ダウンロード版」はこちら
https://www.mext.go.jp/content/20220311-mext_kyoiku01-000021096_1.pdf



研修担当表

「各自のICT端末等で、StuDX Styleの『慣れる・つながる』を見てみましょう。その上で、今後に向けて参考になりそうな事例や、各自がイメージした活用事例・取組などについて、互いに意見交換しましょう。」



参加者B

「GIGAに慣れる活用事例では、すぐにでき
 そうな事例がたくさんありました。まずは、学
 習環境づくりから始めようと思います。」



参加考C

「『職員同士でつながる』活用事例では、職員会議や研修についての事例が多く掲載されています。」

- 研修のまとめを行う。(3分)

「GIGA StuDX メールマガジン」の配信

文部科学省では、「GIGA StuDXメールマガジン」として、学習指導等における1人1台端末の活用について、学校で役に立つ情報をお届けしています。この機会に登録してみよう。



【ポイント】

StuDX Styleでは、慣れる・つながる活用事例や各教科等での活用事例、STEAM教育等の取組事例、各OS事業者のウェブサイト紹介や特集ページ等、様々な情報について発信されており、毎月2回程度の頻度で更新もされています。

定期的にStuDX Styleを参照し、取組を進める際の参考としましょう。